



自立 開拓 共生

横浜市立泉が丘中学校 学校便り

一面

泉中リアル改9月号

平成30年 9月10日 発行者：学校長 小菅隆司
電話：045(802)8797

IT技術の進化と未来に向けた変化への付き合い方 学校長 小菅隆司

休業中、下和泉地区センターに寄ってみると、意外にも(?)多くの泉中の生徒が勉強しています。昔と生徒の気質も変わったようで、有山センター長も「今は皆さん、熱心に勉強していますよ。」との御言葉。皆で集まり、騒いでいた頃とはずいぶん違うようです。

何をやってるのかと覗き込むと、技術の夏休みの課題に取り組んでいました。

-(技術科課題)「2045年問題について」-

ムーアの法則(注1)を基にした「25年後の2045年、AI(人工知能)が、人類の頭脳を超え、凌駕する」というレイ・カーツワイルの予測を、後藤先生が課題にしていたのです。工業を軸とする技術科らしいテーマで、生徒達も興味深く捉えられたのかもしれません。



(注1)インテル創業者
ゴードン・ムーアによる
LSI発達の経験法則



1. 急速に変化する社会と予測しがたい未来

コンピューター有能力(AI)が人間を超えるのですから、今までの「機械化」というレベルとは違い、社会は大きく変化します。45年には、人間の判断がAIに変わり、今ある職業の60%がなくなると言われています。私自身、初めはピンときませんでした。しかし、昨今のニュースや周囲の環境変化を見聞きすると、荒唐無稽に思われた予想が本当に現実味を帯びてきたような気がします。

一昔前の「工場製造ロボット」や「家庭の掃除ロボット」は当然として、「車の自動運転機能の開発」「無人タクシー、無人バスの実験、無人配送・宅配のテスト」等は既に具体的なプランになりました。

「顔認証を用いた嗜好予想型自販機」は可愛いけれど、「ドローン映像や車載カメラ映像も含めた顔認証システムによる犯人捜査」などが報道されると、伊坂幸太郎の「ゴールデンスランバー」やドラマ絶対零度の未犯システムも実現近し(笑)なのか??? と思ってしまう程です。

勘違いする程、変化を示す情報は数多く、色々と錯綜しています。的確な未来予想は難しいと感じます。しかし、その未来を生きなければならぬ泉中生徒の為に、我々は見聞を広げ、より理解を深めなければならない。知らない、良くわからないではすまされない。校長室に閉じこもってばかりいられるか、と再認識した次第です。

2. 中学生へのIT進化により作られる疑似世界の負の影響

最も変化を身近に感じるのが「スマホ(スマートフォン)」です。高齢の方を含め大人も子供達も、LINEがコミュニケーションの第一のツールとなり、メールや音声での会話は極端に少なくなりました。

TVでは、「OK! グーグル」と音声認証やIoTを前面に出したCMが数多く流れています。その入り口に、常にあるのが「スマホ」や「タブレット」です。

先日、厚労省から「中高生のインターネット依存症が5年間で2倍に」との記事発表がありました。オンラインゲームや交流サイトに没頭して、心身を害したり、生活習慣が極端に悪化する生徒の数が激増した、という内容です。

本校でも保護者からのスマホの使い方の相談が多くなりました。「夜中までネットゲームに夢中」「課金(ガチャ)のトラブルが多い」「簡単に仲間のLINEアカウントを外す」……生活面や交友面での御相談です。子供達にとって、ネットは簡単に入れる疑似世界。疑似世界ゆえに深く考えず、軽率な行動の結果、弊害やトラブルが生まれます。最近、「eスポーツアジア大会」の報道がされました。ネットゲームがオリンピック感覚になり、疑似世界が更に身近になるでしょう。一方、日常生活の中には、当たり前のようにネットが入り込んできます。単純に、「ダメ!」とスマホを取り上げるのは、難しくなりそうです。

「依存症」は、本人の自覚がないと簡単に脱出できません。今、この成長期に、「本当に大事な事は何か」を本人に理解させる事が大切です。その為には、我々や皆様が生徒の目線に降り、粘り強く働きかける事が重要と思っています。



こんにちは！授業拝見 <日常の授業の御紹介です>

授業は本校の一押しです。このコーナーは、自慢の教師陣による「授業」のリアルをご紹介します。私が「取材班」となり、ルポ風にまとめてました。< >は私の呟きです。

夏休み明けの期末テスト <9/5~7> 準備万端! 正々堂々の戦いです!!



全員真剣！極限の集中度です。

試験です。夏休み明け早々の定期試験、前期末テスト。技能教科も含め、ほぼ全教科対象の大変重要な試験期間が始まりました。朝9:00過ぎ、学校内は、まるで無人の様に静まり返っています。試験開始前の気持ちの良い緊張感に、張り詰めた空気…。「始めて下さい」試験監の先生の凛とした声と共に、生徒達は一斉に問題用紙を広げ取り組み始めます。教室には、ペンの音だけが響きます。廊下には、試験が滞る事なく進むよう普段はいない監督官の先生も待機しています。<緊張で普段通りの実力が出せるかな> ちょっと覗いてみると



笑顔の青柳監督官

皆、真剣。準備の裏付けか、1年、2年、3年も、皆、自信たっぷり。<きっと夏休み頑張ったんだな~> 来週の結果が楽しみです。(文責校長)

鳥海の目 66<コラム>

- リアルのリアル、リアルな本音 -

泉中リアルを担当を始めて6か月。どうにか軌道に乗ってきた。締め切りは意外にタイト。毎月焦りつつ原稿を仕上げる。書く前の編集会議で校長と私が原稿の内容と記事の担当割り振りを決める。実は少しでも自分の分担が少なく楽になるよう、ココに一番力が入る。(笑。冗談デス)本当は、記事毎に適性を見て、校長と鳥海、廣島、早坂4人の平等に担当を決めるのだ。

時にカメラを忘れて「写真がな〜い!!」と右往左往。結局校長に呆れられながら、裏で記録写真を頂くなどの失敗談は山ほどある。「内容が固い」とか「もう少し笑いがあれば」とか「写真配置の見栄えが悪くない?」とか、校長からネチッとした御指導も沢山受ける。

ところが、なんとなんと今月は褒められた。それは「授業取材で撮影した後藤先生の写真」肩にのこぎりを掛ける姿に「後藤先生の特徴でてるね!」と絶賛。「文章じゃないのか…」と、少しガツカリも、ちょっぴり嬉しい。今年中に記事が褒められるように頑張ろう。

おい、金木工室が暑過ぎるゾ!の巻

金木工室に入室してまず、「暑い!」の一言。とにかく日当たりの良さが売りの金木工室。この日はサウナ状態。<今日は涼しい日なのに金木工室はこの暑さ、今年の35度越えの日はいったいどうだったのやら…> まずは、背筋をまっすぐ伸ばして挨拶。全体に蔓延した夏休み中ののんびりモードから切り替えです。

今日は「カラフルボックス」をつくる為、両刃のこぎりの使い方の説明です。後藤先生の授業の面白さは、その語り口! 刃の特徴を説明するためダイナミックに縦引きののこぎりを肩にかけます。「ほら大丈夫!」と首にあて、同時に横引きののこぎりの危険性を伝えます。

いつもは、元氣一杯な1年4組も



集中しています。

真剣なまなざしでメモをとります。室内の暑さの為、後藤先生は話すたびに汗がポタポタ。扇風機は気休め程度。生徒のみんなも額に汗がにじんでいます。

話の最後に利き目のチェック! 利き手と利き目が異なると、

のこぎりの刃がずれてしまうそうです。私も皆と一緒に時計に向かって指をさし、利き目を確認めます。更に続けて飛びだす「後藤先生流」切り始めは柄がしらを持つと上手に切れるという奥義など、長年の経験に基づいたテクニックを多数伝授していただきました。

自分も中学生の頃、技術で手作りの折りたたみイスや電気スタンドを作ったな〜と思い出し、懐かしい1時間になりました。

※ちなみに先生の真似をしてのこぎりを肩にかけてはダメですよ!(文責 鳥海)<8月吉日 1年4組の時間>



縦引きの刃はこうしても大丈夫!?



時計を指さし利き目のチェック!



後藤文男先生<技術家庭科(技術)>

百花繚乱 未来に向けて<未来につながる今をご紹介>

学校はいつも変化します。主役の生徒が変わり、また、成長し、世代変わりしていきます。このコーナーは、未来につながる泉中や地域の何気ない「リアル」をご紹介します。

7/4・7/20・7/24・8/28 よこはま子ども会議

今年の泉区よこはま子ども会議の会場は、緑園地域交流センターでした。子ども会議のテーマは、「誰にとっても居心地のよい学校」にするにはどうしたらよいか、というもの。

とても難しいテーマですが、泉が丘中ブロックでは、7月4日・7月20日・7月24日の3日間に渡り、中和田南小学校・下和泉小学校の代表児童と本校の生徒会本部で話し合いを行いました。話し合いは白熱し、テーマを達成するためにどのような実践を行うか……毎日、議論は難航しました。激論の末、各校の縦学年を中心にレクリエーションを行うことになりました。

今後、9月～1月までに各月4回、レクリエーションを行い、レクに参加した生徒からもらった感想を、3校で新聞にして発行していく事で合意、スタートします。

この活動を通して、普段はなかなか関わることのない他学年と触れ合いながら、様々な学びや刺激を受けることができたら良いと思います。どのようなレクを企画してくれるのか、今から楽しみにしててください。また、生徒会本部では、今現在、泉中の各フロアに設置してある「意見ボックス」をさらに活用していきたいと考えています。



白熱する話し合い…

学校をより良くしていく為の、皆さんの声を意見ボックスに入れてください。よろしく
お願いします！
(文責 廣島)

早坂のココロの声<コラム>

-体育大会の思い出-

9月21日は体育大会。生徒の練習にも熱が入ってきた。私の中学生の体育大会の思い出、それはムカデ競争。二人三脚の縦列バージョン、7～8人と足を繋いで、グラウンドを一周駆け抜ける。私は背の関係で、先頭をやるはめに。練習で膝はすりむき、「早すぎる」とメンバーに文句を言われ、リズムが崩れると全員が後ろから倒れこんで来て、全員の体重がのしかかる。実にしんどい競技。一人「どうかしないと」と思い、担任の先生にお願いして、特別に練習時間を確保。チーム皆で徹底的に練習した。迎えた体育大会当日、練習の成果が実り、クラス対抗で1位を獲得。何とも言えない爽快感と、「やってよかった」と思った事を15年近く経った今でも思い出す。<その時の必死の形相が、後に卒業アルバムに掲載。これは、最悪の記録！>生徒達にも思い出深い体育大会になるのだろうと、今からとてもとても楽しみだ!!!

8/27 防災訓練



頭部を保護する3年生

9月1日(火)は防災の日、8月30日～9月5日は防災週間でした。夏休み明けの初日、地域の方にも来て

いただき、防災訓練を行いました。大地震が発生した場合を想定した基本的な訓練でした。

今回は、大地震の時の対応についての映像も流し、屋外や家でも大地震が実際に起きた時の対応について学ぶ時間もありました。万が一の事を思い、生徒たちは真剣に映像を眺めていました。訓練は生徒達はもちろん、職員のための訓練でもあります。実際に負傷の生徒が居ることを想定し、保健委員の生徒が、けが人役として教室に取り残され、負傷生徒の搬出、救護、介護の訓練を行いました。

全員が校内から安全な場所(グラウンド)へ避難したことを確認し、校長先生、地域防災訓練拠点運営委員会の引地委員長さんからの講話をお聞きしました。

夏休み明けという事もあって、気が緩み「お・か・し・も」(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)を守れずに、避難できなかったクラスもありましたが、二次避難(校舎内へ避難する)時は、静かに避難することができ、防災への意識を高めることができました。(文責 早坂)



お邪魔しまっす！部活体験 < 普段の部活をご紹介 >

授業が本校の一押しならば、部活動も大切なサブアイテム。このコーナーは、本校の普段の部活のリアルをご紹介します。公式試合や発表会は勿論のこと、普段の意外な一面をご覧ください。

夏休みのパソコン室。真剣なまなざしの生徒たち。そう、社会科研究部の生徒たちの部活動風景です。社会科研究部は秋に行われる文化発表会に向けて、それぞれ興味がある課題について調べ、レポートを作成しています。

私が泉が丘へ来た頃には3年生が2名で1年生が1名だけ。存続が危ぶまれる寂しい状況でしたが、ここ最近、人数も増え、活動も深まり、部活が活性化しているというのです。

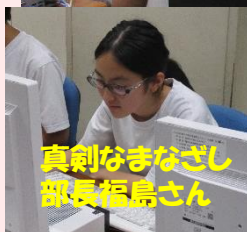
部長の福島さん、副部長の熊谷さんいわく、「先生からの提案で部員全員同じ課題を調べたことで刺激になったり、人数が増えて、朝練習が始まったことで、より楽しくなってきた。」からだそうです。

確かに1年生も和気あいあいとしつつ、各々きちんと課題に取り組んでいます。実はそれには秘訣があって、部活の終わりに自分の作業の進捗状況をミーティングで振り返っているそうです。さまざまな工夫が部を楽しくしているのですね。

社会科研究部 男子8名、女子2名、計10名



社会科研究部のみんな。



真剣なまなざし 部長福島さん



2年代表 金杉さん

2年代表金杉さんは「文化発表以降は自分が部長になるのでうまく部をまとめて引っ張っていきたい」と意気込んでいます。また、熊谷さんは後輩たちに「得意じゃなくてもいいから、社会問題を好きになってほしい」と語ります。先輩後輩、部員同士も仲が良いです。最後に部長の福島さんから「文化発表会に向けてみんな自分のレポートをがんばっています。当日はいろんな人に研究展示を見て欲しいです。」とメッセージ。是非皆様、格技場へお越しください。(文責 鳥海)

美術部 男子1名、女子25名、計26名



~体育大会に向けて~



~文化発表に向けて~



~秋祭りにに向けて~

7月に美術部恒例のスケッチ旅行(日帰り)に行ってきました。猛暑の中、桜木町の街中の涼しそうな木陰や室内を見つけ、各自でスケッチを楽しみました。部員の作品は文化発表会の作品展に展示する予定です。普段の活動での個人制作の作品も併せて格技場に展示しますので、美術部メンバーの個性あふれる魅力的な作品を、是非、御鑑賞いただきたいと思います。また、御感想もお聞かせいただければ幸いです。

美術部は、普段、個人制作が主な活動ですが、夏休みは3つの共同制作に取り組みました。

1つ目は、長さ10メートルにもなる体育大会の横断幕。3年生の甲斐さんがデザインの下書き、1年生達がスローガンのレタリングをして、部員総出で色塗りをしました。同時に体育祭の看板も書き換えです。2つ目は、文化発表会を彩るスローガンの制作。こちらは3年生の宮脇さんを中心に制作。2年生も画力を発揮、1年生も初めての大作でしたが、アドバイスを受けながら頑張りました。3つ目は下和泉住宅自治会の住宅祭に飾る作品。部長の成田さん、2年生の榊原さんを筆頭にスムーズに制作。日頃お世話になっている地域皆さんの為に、真剣に制作しました。お祭りにお出かけの際には、メンバーのこだわりのつまった作品を併せてお楽しみ下さい。(文責 早坂)

